

# 第4回 かかりつけ薬剤師 インターネットシンポジウム



**日時** 2017年11月21日(火) 19:00~21:00

**場所** 八女グリーンホテル  
八女市本町47-1

## 座長

医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者  
一般社団法人 日本女性薬局経営者の会 会長

**堀 美智子** 先生

## 講演

1

## 薬剤師における多職種連携の重要性と その将来像

株式会社MKファーマシー 代表取締役

**桂 正俊** 先生

## 講演

2

## 血圧管理の重要性

自治医科大学 循環器内科学部門 准教授

**星出 聡** 先生

講演後に質疑応答の時間を設けております。

※本セミナーは、公益財団法人 日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度における  
グループ研修受講単位(1単位)を申請できます。

主催 ファイザー株式会社

座長ご紹介

**堀 美智子 (ほり みちこ) 先生** 医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者



一般社団法人 日本女性薬局経営者の会 会長  
 一般財団法人 日本ヘルスケア協会 理事  
 一般社団法人 日本薬業研修センター 医薬研究所所長  
 一般社団法人 日本臨床栄養協会 理事

名城大学薬学部薬学科卒業・同薬学専攻科修了。名城大学薬学部医薬情報室・帝京大学薬学部医薬情報室に20年勤務の後、1998年に医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー設立に参加。八王子にアンテナショップとして開設した公園前薬局を運営しながら、各種データベースの作成や書籍作成に携わっている。1998～2002年 日本薬剤師会常務理事を務めた。現在、ラジオ NIKKEI 第1「健康ネットワーク」のパーソナリティーを務めている。  
 近著として、「OTC薬ハンドブック」(じほう 2013)「薬局トリアージ」(じほう 2013)「OTC薬ガイドブック」(じほう 2013)「処方せん・店頭会話からの薬剤師の臨床判断」[Dr. 林と Ph. 堀の臨床判断] (じほう 2015)「7日間どうかる! 登録販売者テキスト&問題集」(日本経済新聞社 2016)などがある。初のエッセイ集「薬剤師が読む枕草子」を2013年9月に出版。

講演1

**薬剤師における多職種連携の重要性とその将来像**

株式会社MKファーマシー 代表取締役 **桂 正俊 先生**

WHO(世界保健機関)では、世界に先駆けて多職種連携の必要性を示していましたが、日本では多職種連携への関心は低く、あまり進みませんでした。しかし、超高齢社会に突入した日本において、要介護高齢者の介護課題、地域・在宅医療への取り組み、医療費削減といった課題が生じる中で、多職種連携は必要不可欠なものになっております。また、2025年までに構築される「地域包括ケアシステム」は、=地域単位の多職種連携を推進する事が基本とも言えます。今回のシンポジウムでは、薬剤師が取り組むべき多職種連携を提案したいと思います。

演者ご紹介

**桂 正俊 (かつら まさとし) 先生** 株式会社MKファーマシー 代表取締役



1989年 東日本学園大学薬学部薬学科 卒業  
 1989年 帝国臓器製薬株式会社 入社  
 1991年 株式会社太誠堂薬局 勤務  
 2006年 株式会社MKファーマシー 設立  
 2008年 小樽市介護支援専門員連絡協議会 会長  
 2009年 株式会社おたる企画 設立  
 2012年 小樽薬剤師会 会長  
 [現職]  
 小樽薬剤師会 会長  
 おたる地域包括ビジョン協議会 副会長  
 北海道医療大学 非常勤講師

講演2

**血圧管理の重要性**

自治医科大学 循環器内科学部門 准教授 **星出 聡 先生**

高血圧は、心血管イベントの重要な危険因子の一つです。特に、心血管イベントの中でも脳卒中との関連が最も強く、脳卒中発症が欧米と比較して多い日本人においては、血圧管理は重要であるといえます。本邦では、家庭血圧測定が普及しており、現在の高血圧診療は家庭血圧を中心に行われていることがほとんどです。実際、家庭血圧で測定した血圧レベルは診察室で測定した血圧レベルより、心血管イベントの予後予測能に優れています。家庭血圧で測定される血圧は毎日異なりますが、それは日間変動と呼ばれ、それが高い人ほど心血管イベントが多いことも報告されています。日間変動が大きくなる理由として、服薬コンプライアンスの問題が一つとして考えられています。本講演では、家庭血圧を用いた高血圧管理の重要性について述べさせていただきます。

演者ご紹介

**星出 聡 (ほしで さとし) 先生** 自治医科大学 循環器内科学部門 准教授



1995年 山形大学医学部医学科 卒業  
 1995年 東京大学医学部附属病院 内科研修医  
 1996年 公立学校共済組合関東中央病院 内科研修医  
 1997年 自治医科大学 循環器内科学部門 勤務  
 2009年 イタリア ミラノ・ビコッカ大学 San Luca病院 留学  
 現在、自治医科大学 循環器内科学部門 准教授  
 内科学会総合内科専門医  
 循環器学会専門医  
 高血圧学会専門医  
 [主な研究分野]  
 家庭血圧やABPMの血圧測定に基づく高血圧管理